

温故創新

豊中らしさを創る

無所属

豊中市議会議員

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と、豊中新時代へ！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールに向かって走ります。

4期目の総決算集

当時26歳で議員に当選させていただいた私は、若手の新人議員として市内を縦横無尽に走り回り、3期11年を務めて市長選挙に立候補しました。落選して無職の時代を経験し、令和の幕開けとともに議員に復帰させていただいたのが4期目のスタートでした。

一年も経たないうちに中国で新型コロナウイルスが流行し、年が明けると国内にも感染者が見つかり、新年度を迎えると緊急事態宣言とともに社会が活動停止になりました。あれから三年の歳月が経ち、コロナ禍は収まりを見せつつあります。

脱コロナ社会にむけて、コロナ禍における変化を前向きに受け止める必要があります。4期目はほぼ「コロナ禍」でしたが、実現した成果に焦点を当てて、活動報告をさせていただきます。

地域接種を担ったワクチンカー

コロナ禍で行政によるワクチン接種事業がはじまると、接種率向上のため、企業による職域接種、学校による学域接種が加わりました。

ワクチン接種に赴くことができない高齢者や障がい者など社会的弱者のため、私は他に先駆けて「地域接種」の必要性を訴えました。人が集まる地域にワクチンと医師を派遣するという発想です。その後、優秀な職員さんの立案によって、

ワクチンカーとして施策展開され、接種率向上に寄与しました。ワクチンカーが市内の至るところに訪問する様子は、マスコミに取り上げられ、市内外から評価をいただきました。

コロナ禍での議員活動

人類が初めて経験するパンデミックで、議員活動もこれまでの経験がまったく通用しませんでした。公務はなくなりませんが、タブレットによるテレワーク、オンライン会議が導入されました。主要な政務活動である視察なども中止となり、来賓などの仕事や政治活動も自粛となりました。

一方で、「マスクが買えない」「給付金はまだか」という市民相談は激増し、飲食業や観光業をはじめ、業種によつては職を失う方もいらつしやいました。議員として役に立てることに限界を感じましたが、私も無職を経験したことから、同じ目線で対応させていただきました。

コロナ対策の振り返りが必要

未曾有のコロナ禍に行政も当初予算を組み直すなど、初めてのことが数多くありました。例えば、行政の指示を待たず、一部の保育園が休園を決定したことは、数多くの保護者から苦情が出て混乱を招きました。次のパンデミックを見据え、この三年間の出来事や施策を一つ一つチェックしていくことが脱コロナ社会での議員の役目です。

豊中地場産品の創出

明治5年、桜井谷村出身の渋谷三郎氏によって、初の国産ビールが販売されました。その功績を顕彰し、国産ビール販売150周年にあわせて、豊中にも地ビールが誕生するよう、縁の下で力持ちとしてお手伝いしました。

豊中あぐりによる地ビール

退職後の男性が積極的に社会参加できる目的で、豊中市社会福祉協議会が農園「豊中あぐり」を運営しています。私が地主さんと協議会の職員さんを引き合わせたことに端を発し、第一農園がスタートして民有地、学校敷地などに拡大し、様々な農作物が生産されています。

収穫したシークワーサーを利用した豊中の地ビールが誕生しました。第一次産業から第二次（製造）と第三次（販売）までを複合した第六次産業へ成長することを期待しています。

宮山春日神社の湧水で

宮山春日神社にある薬師井戸は、病気を治すという伝承があり、豊中市史にも記載されています。私が神社と民間事業者を引き合わせた結果、その湧水をつかった「神社ビール」が製造・販売に繋がりました。現在は、ふるさと納税の返礼品にもなっています。



メルマガジンを発行しています。ご希望の方は office@matsuoka-akimichi.net までお知らせください。

対照的な駅前再開発

動き出した服部天神駅

服部天神駅は踏切における歩行者、自動車の混雑が危険な状態が続いています。積年のロータリー計画があるものの、バスの進入ができない、タクシーが歩道を横切るなど課題が多く、見直しを提案しましたが、予定どおり着手します。当面の安全確保策として、私の提案で



線路内に歩行者通路の路面表示が実現し、好評いただきました。

動かない旧庄内駅

駅西側の旧庄内駅前庁舎（現ローン）を売却し、駅東側に駅前庁舎を購入した経過がある庄内駅前の再開発が進みません。パチンコ店跡は駅前庁舎と一部で隣接していること、駅前広場（分煙スペース）が狭小であること、将来的な



ロータリー化を見据えることから、土地の購入を提案してきました。残念ながら、駅前再開発に行政の本気度を感じません。

お声かけいただければ、少人数でも議会報告させていただきます。どこでも伺いますので、お申し付けください。

キッチンカー先進都市

提案は公園から

平成28年に豊中市議会ではじめてキッチンカーによる公園のにぎわいづくりを提案しました。キッチンカーは小規模な資金で開業しやすいものの、駐車して営業できる場所が限られていました。一方、入場無料にもかかわらず、維持管理費のかさむ公園は、にぎわいづくりにあつたな投資がしにくい状況でした。

そこで、公園への進入を認めることで、事業者と行政の利害関係が一致するのではないかとという名案でした。試行実施をしたものの、当時は事業者も少なく、応募がなく不調に終わりました。

コロナ禍で広がる

令和2年になり、キッチンカーの活用を公園に限らず、地域全体で社会実験をすることになりました。当初3カ所から11カ所まで拡大し、コロナ禍で外食控えが進む中でテイクアウト需要が高まったことや、キッチンカー事業者が増加したこともあり、現在は本格実施に至っています。一時的な流行に終わらせることなく、キッチンカーで街がにぎわう先進事例となつてほしいです。

教訓となったこと

どんなに名案であつたとしても、時流に乗らなければ、施策として実現できないことを痛感しました。提案が陽の目を見たことはコロナ禍での吉報でした。

民間の技術やノウハウを公共のために役立てませんか？皆様からの情報提供をお待ちしております。

ふるさと納税のしくみ

令和3年度において、ふるさと納税によって減少した豊中市の個人市民税は約20億8千万円です。一方で75%にあたる約15億6千万円が交付税によって国から補填されるしくみです。

豊中市が個人からいただいている寄附は約2億5千万円です。収支は18億3千万円の赤字、交付税を加味しても2億7千万円不足しています。

市民の寄付はダブルインカム

この制度設計の欠陥は、豊中市民が豊中市に一万円を寄付すると、豊中市は寄付金として一万円を受け取り、かつ交付税として7千5百円を受け取ることです。もともと市民税としていたくはず一万円が75%増になるので、市民からの寄付に力を入れるよう訴えてきました。国が市民に対する返礼品を禁じるようになったのは、この制度の欠陥を悪用されなためです。

豊中市は寄附サイトを立ち上げ、クラウドファンディングによる事業を実施して、寄付のお願いをしています。

企業版ふるさと納税制度

平成28年から企業版もスタートしていますが、実績は一件だけです。企業が多くの都市部に有利な制度であり、豊中市はコナミ創業の地ですし、ローン、ライフ、スシローの一号店の町ですから、注力しなければいけません。

議員という進路選択があってもいいと思います。キャリア教育や様々な場面でお話させていただきますので、お申し付けください。

議会でのその他の取り組み

犯罪被害者の救済

名古屋市の犯罪被害者に対する救済策を視察して、市議会に提案しました。国や府の救済策とあわせて市独自の施策が令和5年度より実現します。

ワクチン後遺症の救済

新型コロナウイルス接種後に体調を崩し、健康被害をうけた方が市内にもおられます。市としての取組み、国の救済策につなぐ支援を求めました。

マチカネポイントの実現

平成29年に提案した自治体ポイントが実現しました。詳細はホームページから57号をご覧ください。今後はデジタル地域通貨として市内を流通するように発展していきます。

住民監査請求を2件

不適切と思われる市の支出2件について、市議会に質疑し、不可解な点を真相究明するために監査請求をしました。いずれも市の正当性を追認するだけでしたが、監査において明らかになった事実もありました。

次世代を担う学生の指導

初当選以来、受け入れている議員インターンシップの大学生が、政策コンテストに挑戦し、令和3年春は全国大会で準優勝、令和3年秋は全国大会で優勝、令和4年秋は大阪大会で優勝という功績を残してくれました。

公務員の方へ。現場の声を聞かせてください。上司や部下には言えないことなど、相談も承ります。

『新修豊中市史』の値下げ

温故創新では『新修豊中市史』を主な参考資料として、豊中の史実を取り上げてきました。議会では市史に基づいて「豊中らしさを創る」提案をしてきました。(詳細は温故創新56号をホームページからご参照ください。)

市史の編纂は市制施行50周年事業としてスタートし、半世紀にわたって9億円を費やしてきた超大作です。昨秋に初めて値下げをして購入しやすくなったほか、ふるさと納税の返礼品にも登録し、市民でない職員には寄付のPRもしています。

残された課題と展望

新修市史の編纂は2001年までを対象としてきました。しかしながら、産業界における史実が乏しく、豊中市はゲームソフトやスポーツジムで有名なコナミホールディングスの創業地であることや、現在の回転寿司チェーンの大手スシロー一号店(当時の屋号…すし太郎)が豊中市に出店されたことなど、あるべき記載が見当たらない。

早くも2002年以降で未記録の期間が20年以上となり、記憶の新しいうちに記録していくことが必要です。また、郷土愛の醸成を目的とした市史のさらなる利活用が求められています。

感染症の予防には、手洗い・うがい、栄養補給と睡眠確保が大切です。まず自分にできることを心がけましょう。

骨髄バンクのドナー助成

私の友人のお兄さんが白血病で亡くなったことをきっかけに啓発に関わりました。競泳の池江璃花子選手の復活が記憶に新しいですが、白血病の治療には骨髄移植が必要になります。適合するドナーが見つかる確率は兄弟姉妹の間で25%、血縁がない他人では数百万分の一となります。献血会場でドナー登録することができ、一人でも多くの方が登録いただくことで救える命があります。ご協力をお願い申し上げます。

仮にドナーが見つかったとして、ドナーは仕事を休んで入院し、心身ともに負担がかかります。そこで、移植に協力してくださる気持ちに感謝し、経済的な負担を軽減する施策として、ドナーの休職にかかる減収を補償する助成金を豊中市議会にて提案してきました。その後、他の議員さんからの後押しや世論の高まりをうけ、実現しました。

財源をクラウドファンディング

ドナー助成金に充てる財源の一部をクラウドファンディングに依頼しており、豊中市の寄附サイトからご支援いただけます。「自分の身の回りで白血病を患う人がいるかもしれない」という当事者意識をもっていたことで、多くの市民の方から骨髄バンクへの共感をいただくこと、登録者を増やすことに繋げることが大切だと考えています。

コロナ禍において、お困りの方が身の回りにいらっしゃいませんか？お役に立てることがありましたら、お声かけください。

市負担で認知症保険が導入

65歳以上の7人に一人が認知症とされており、豊中市では一万二千人以上の患者さんがいるとされています。私は徘徊高齢者を数多く保護してきた経験と、認知症保険を取り扱った知識から、前回の公約として行政による関与が必要であると訴えてきました。

全国の先進事例にならう

認知症徘徊高齢者が踏切に立ち入り、電車と接触して亡くなった事故でJR東海が遺族を訴えました。民法714条では責任能力のない人が損害を与えた場合、被害者救済の観点から監督義務者が原則として責任を負うことを規定しているからです。

認知症患者のための損害賠償保険が販売され、私が調べた2019年には全国39の自治体で介護をする家族のメンタルケアの観点から、市負担で保険加入をしていました。府下では寝屋川市が先進的に取り組まれており、豊中市においては次年度より導入される予定です。

認知症の啓発・予防・相談

認知症の理解を進めるため、一人でも多くの方にサポーター研修を受講していただきたいです。症状が出る前から予防すること、なるべく早く相談することが大切です。一部の校区では月に一度、認知症カフェが啓発・相談事業として開催されています。

豊中市の人口は40万人、財政調整基金は一時的に100億円に達し、黒字を維持しています。

【市政報告会のご案内】

下記のとおり開催させていただきますので、万障お繰り合わせいただき、お誘いあわせの上、ご参加ください。

日時 令和5年3月18日(土)
19時～20時
場所 すてっぷホール
(豊中駅前エトレ5階)
費用 無料

【略歴】

しんでん幼稚園
市立南丘小学校
市立第九中学校
府立北野高校
同志社大学法学部政治学科
大阪府信連(JAバンク大阪)
NPO 法人理事など歴任



【議員歴】

2007年 初当選(最年少)
2011年 二期目当選
2015年 三期目当選 副議長
2018年 市長選挙落選 議員失職
2019年 四期目当選
現在 市民福祉常任委員会
議会報編集委員会

【ボランティア】

豊中ラグビースクール、豊中地区 BBS 会(更生保護団体)、豊中青年会議所シニアクラブ、少年野球連盟サンマテオ交流親善使節、災害時帰宅困難者体験訓練、島熊山緑地協議会、蛍池ハロウィンバル、校区福祉委員会、校区防災組織など多数

東西軸を形成するバス交通

2011年に提案した公共交通による東西軸の形成と交通不便地の解消を実現しました。公共交通改善計画を策定し、2019年度に乗合タクシーとシェアサイクルがスタートし、2021年度に緑地公園駅、曽根駅、伊丹駅を結ぶバス路線が運行開始しました。

シェアサイクルは市内全域に拠点を拡充し、2022年度から本格実施となりました。乗合タクシーは西部地域で6割の利用がある一方、南部地域では低調な状況です。東西バス路線は当初の想定利用客の1.6倍を達成しています。

すべてが順風満帆というわけにはいきませんが、沿道住民の声を聞き、先進事例を視察し、インターシッピングとして受け入れている大学生とともに提言してきた経過があるため、私が力をいれてきた鉄道路線を結ぶ東西バス路線が成果を収めていることは、議員冥利に尽きます。

東西軸が地域を活性化させる

東西交通軸ができたことによって、相乗効果で沿道地域は活性化し、地域が活性化することによって、交通軸がさらに強化されていくというプラスのスパイラルをつくる必要があります。大阪府が所管する服部緑地が民間事業者によって管理運営され、にぎわいが創出されることが決まっており、こうした機会を活かすことが重要です。

twitter(matsuokaakimich)に加え、facebook、Instagramでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

ゼロカーボンシティの実現へ

公用车も次世代型へ

他市に先駆けて豊中市には空港に水素ステーションが整備され、地球温暖化防止の観点から、環境啓発車両として、公用车に水素自動車を導入しました。汚い空気を取り込んで、きれいな空気と水を排出するため、走る空気清浄機とも言えます。脱炭素社会をPRするため、豊中市内の様々なイベントで活躍しています。

また、あわせて提案してきた市の職員が移動に利用する公用车にも超小型電気自動車を導入されました。公用车の多様化により、目的に応じた使い分けが可能になります。駐車スペースが小さく、国の補助金もあることから、管理面やコスト面でも優れています。

J-クレジット制度に参入すべき

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による二酸化炭素等の排出抑制量をクレジットとして国が認証すれば、クレジットを売買することで財源確保に繋がります。堺市では府下の自治体に先駆けて参入しています。

豊中市もゼロカーボンシティを宣言し、次世代型自動車の導入や戸建住宅用太陽光パネル設置助成事業を行って、そのため、J-クレジット制度に参入すべきと提案しており、参入に向けた調査研究を行っています。

温故創新を受け取ってください、ありがとうございます。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

フィルターバブルにご注意を

インターネットの検索サイトは、利用者を識別する仕組みを用いて、所在地や検索履歴などのプライベート情報を把握しており、その情報を解析し、利用者が「見たい情報」を優先し、「見たくない情報」を遮断します。つまり、利用者にとって情報が最適化されるよう、私たちのパソコンやスマホはパーソナライズされています。

利用者にとっては利便性が向上し、評価は高まる一方、無意識のうちに自分に届く情報がフィルターバブルにかけられ、同じ情報や嗜好、思想、価値観のバブルの中で孤立していくことになります。自分の見ているネット社会はフィルターバブルの中だけであり、もっとたくさんの情報がネット上にはあるのに知りえない、いわば「井の中の蛙大海を知らず」の状態になっています。

無意識のままに誘導される

最近では投票前にインターネットで情報収集する人も増えているので、特定の情報だけに偏らないようにしていただきたいです。ご自身の思想信条は大切にしたいのですが、世間には当然に反対の意見や思想があるわけですから、そうした情報に触れることなく、無意識のままに先鋭化されていくと、ネット上に閉鎖的で過激なコミュニティ（例えば、トランプ前大統領を支持する一派）が形成されていきます。

学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

氏名(匿名可)と連絡先をお伝えください。

TEL: 090-5675-4980

FAX: 06-6871-0775

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

〒560-0084 豊中新千里南町 2-7-12-201

※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしやいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

※豊中市議会党派無所属・議会改革として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。印刷・頒布にあたっては、政務活動費を利用させていただきます。

【お知らせ＆お願い】

- 統一地方選挙日程：知事と府議会議員選挙が4月9日、豊中市議会議員選挙は4月23日（4月16日告示）が投票日となります。
- 松岡のミカタになってくださる方をお願いしております。
左記まで氏名と連絡先をお知らせください、会報を郵送させていただきます。
- 活動経費として、皆様からのご厚志(政治献金)をいただければ幸いです。
ビール1杯、スイーツ1皿分で結構です、ご支援よろしくお願いします。
例えば 松岡の活動支出の目安として、会報郵送費 約50万円/年、新聞折込代 約70万円/回、選挙積立 約70万円/年などがあります。
※ご厚志をいただいた方には収支報告を年に一度させていただきます。
※その他(交通費、通信費、事務費など)かかる経費の多くを報酬より自腹で支出しておりますので、ご厚志を充てさせていただきます。
- お住いの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストへ「温故創新」を配布して下さる有志の方を募集しています。ご協力をお願いいたします。

ルの存在を意識した選書、蔵書構築に努める必要があり、ネット検索だけでは得られない付加価値のある多様な情報提供に取り組んでいきます。